

氏名 小坂正和

授与した学位 博士

専攻分野の名称 医学

学位授与番号 博乙第2757号

学位授与の日付 平成6年6月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目 反復する慢性中耳炎耳漏の細菌学的検討

論文審査委員 教授 小熊 恵二 教授 大森 弘之 教授 荒田 次郎

学位論文内容の要旨

少なくとも一ヵ月以上の間隔で3～4回の反復する耳漏が認められた慢性中耳炎44耳を対象として、検出細菌と薬剤感受性の変化について検討し、慢性中耳炎の臨床的問題点を明らかにした。

検出菌は、16種115株でStaph.aureus, Staph.epidermidis, P.aeruginosaの順であった。反復耳漏がいずれも同じ菌種の症例は24例(55%)と最も高頻度で、Staph.aureus: 10例, P.aeruginosa: 9例, Staph.epidermidis: 4例, P.cepacia: 1例で、Staph.epidermidisの検出頻度が特に低下していた。同一耳からの同一菌種の感受性は極めて類似しており、biofilm形成等により宿主内に生着している細菌の再感染が関与していると推察した。また、NFLXの投与でCEZ等の感受性が回復し、場合によっては、MRSAを感性菌と見誤る可能性のあることが示唆された。

骨導聴力を低下させる度合いが高いと言われるStaph.aureusは、最も高頻度で検出され、かつMRSAによる難治化の点で、また、多剤耐性菌のMethicillin-Cephem Resistant Staph.epidermidis, P.cepaciaの出現にも注意が必要であることが分かった。

論文審査の結果の要旨

本研究は耳漏を反復する慢性中耳炎患者44例を3年間観察し、その起炎菌の同定と薬剤感受性の変化を検討し、慢性中耳炎の実態と問題点を明らかにした価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。